

エアスライドテーブル / 高剛性タイプ

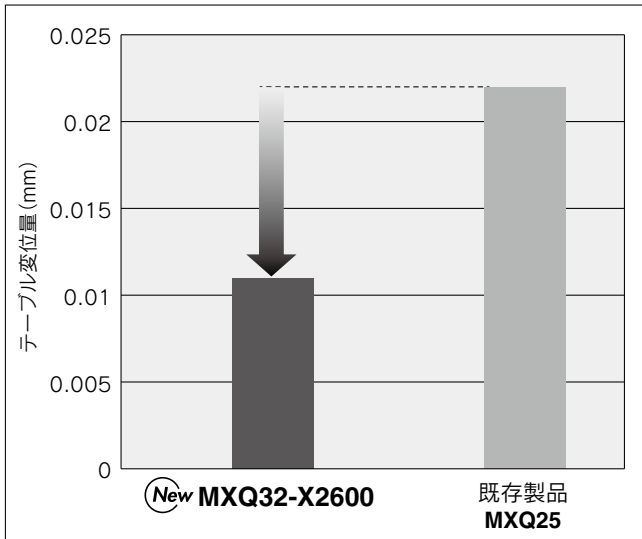
φ32

RoHS

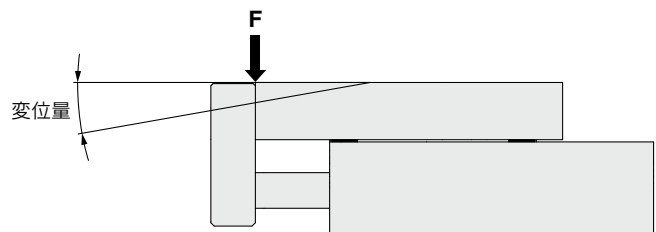
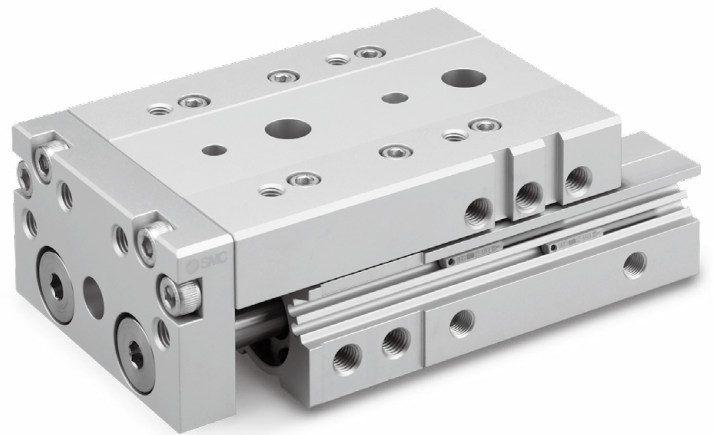
4列サーキュラーアーチ溝のリニアガイド採用により高剛性高精度を実現

テーブル変位量 : 50%軽減

※0.022mm→0.011mm



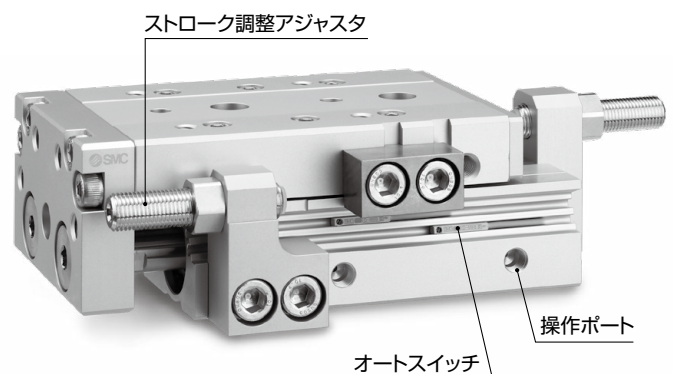
※30ストローク時において、右図のF部に100Nの荷重を作用させた時のF部の変位量
 ※当社試験条件による
 ※テーブル変位量の詳細につきましてはP.4をご参照ください。



※出端位置での測定

New

- ストローク追加
75、100、125、150mm
- 最大積載荷重 16kg
- アルミテーブル：
可動部軽量化により積載荷重UP
- 片面に操作ポート、ストローク調整アジャスタ、オートスイッチを集約し操作性向上



MXQ32-X2600

SMC

'21-773 A

エアスライドテーブル／高剛性タイプ

MXQ32-X2600

ø32



型式表示方法

MXQ 32 - 30 AS - M9BW - - - X2600

シリンダ内径

標準ストローク(mm)

10, 20, 30, 40, 50, 75, 100, 125, 150

アジャスタオプション

記号	アジャスタ種類	アジャスタ取付位置	
		前進端	後退端
無記号	アジャスタなし	—	—
AS	ラバーストッパ	●	—
AT		—	●
A		●	●
BS		●	—
BT	ショックアブソーバ(RJ)	—	●
B		●	●
ASBT	前進端ラバーストッパ＋ 後進端ショックアブソーバ	●	●
BSAT	前進端ショックアブソーバ＋ 後進端ラバーストッパ	●	●

※アジャスタ調整範囲はP.9、10をご参照ください。
※標準ストローク10mmのアジャストボルトロング仕様(-X12)の設定はありません。

●オーダーメイド仕様

無記号	なし
-X11	アジャストボルトロング仕様 (アジャスタ調整範囲10mm延長)
-X12	アジャストボルトロング仕様 (アジャスタ調整範囲20mm延長)
-X33	オートスイッチ用マグネット 非装着仕様
-X42	ガイド部防錆仕様
-X42A	ガイド部防錆仕様 ＋アジャストボルトロング (アジャスタ調整範囲10mm延長)
-X42B	ガイド部防錆仕様 ＋アジャストボルトロング (アジャスタ調整範囲20mm延長)

※詳細はP.13をご参照ください。

●オートスイッチ追記号

無記号	2ヶ付
S	1ヶ付
n	nヶ付

●オートスイッチ

無記号 オートスイッチなし(マグネット内蔵)

※オートスイッチの品番につきましては、下表をご参照ください。

適用オートスイッチ／オートスイッチ単体の詳細仕様は、ホームページWEBカタログをご参照ください。

種類	特種機能	リード線 取出し	表示 灯	配線 (出力)	負荷電圧		オートスイッチ品番		リード線長さ(m)				プリワイヤ コネクタ	適用負荷					
					DC	AC	縦取出し	横取出し	0.5 (無記号)	1 (M)	3 (L)	5 (Z)							
無 接 点 オ ー ト ス イ ッ チ	—	グロメット	有	3線(NPN)	5V,12V	—	M9NV	M9N	●	●	●	○	○	IC回路	リレー、 PLC				
				3線(PNP)					M9PV	M9P	●	●	●			○			
				2線	M9BV		M9B	●	●	●	○	○							
				3線(NPN)	M9NWV		M9NW	●	●	●	○	○							
	診断表示 (2色表示)	グロメット	有	3線(PNP)	5V,12V		M9PWV	M9PW	●	●	●	○	○			○	IC回路		
				2線			M9BWW	M9BW	●	●	●	○	○			○	—		
				耐水性 向上品 (2色表示)	グロメット		有	3線(NPN)	5V,12V	※1 M9NAV	※1 M9NA	○	○			●	○	○	IC回路
								3線(PNP)		※1 M9PAV	※1 M9PA	○	○			●	○	○	○
オ ー ト ス イ ッ チ	—	グロメット	有	3線 (NPN相当)	5V	—	A96V	A96	●	—	●	—	—	IC回路	—				
				2線					※2 A93V	A93	●	●	●	●	—	—	リレー、 PLC		
				無	2線		24V	12V	100V 100V以下	A90V	A90	●	—	●	—	—	IC回路	—	
										—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1 耐水性向上タイプのオートスイッチは、上記型式の製品に取付可能ですが、それにより製品の耐水性能を保証するものではありません。

※2 リード線長さ1mタイプは、D-A93のみの対応となります。

※リード線長さ記号 0.5m 無記号 (例)M9NW
1m M (例)M9NWM
3m L (例)M9NWL
5m Z (例)M9NWZ

※○印の無接点オートスイッチは受注生産となります。

※上記掲載機種以外にも、適用可能なオートスイッチがありますので詳細は、ホームページWEBカタログをご参照ください。

※プリワイヤコネクタ付オートスイッチの詳細は、ホームページWEBカタログをご参照ください。

※オートスイッチは同梱出荷(未組付)となります。



仕様

シリンダ内径	32	
配管接続口径	Rc1/8	
使用流体	空気	
作動方式	複動形	
使用圧力	0.15~0.7MPa	
保障耐圧力	1.05MPa	
周囲温度および使用流体温度	-10~60℃(ただし凍結なきこと)	
使用速度範囲(平均作動速度)	50~500mm/s(125、150ストロークのみ50~450mm/s)	
クッション	アジャスタなし	内部ラパークッション
	アジャスタ付	ラバーストッパ、ショックアブソーバ
給油	無給油	
オートスイッチ	無接点オートスイッチ、有接点オートスイッチ (2線式、3線式) 2色表示式無接点オートスイッチ(2線式、3線式)	
ストローク長さの許容差	+2~0mm	

注) オートスイッチの詳細につきましてはホームページWEBカタログをご参照ください。

アジャスタ仕様(オプション)

ラバーストッパ仕様

最大吸収エネルギー(J)	0.78
取付ねじサイズ(mm)	M14×1.5
質量(g)	65

ショックアブソーバ/RJタイプ仕様

最大吸収エネルギー(J)	10
吸収ストローク(mm)	12
使用速度範囲(mm/s)	50~500
最高使用頻度(cycle/min)	45
最大許容推力(N)	814
バネ力(伸長時)(N)	6.4
バネ力(圧縮時)(N)	17.4
取付ねじサイズ(mm)	M14×1.5

理論出力

デュアルロッドの採用により、従来シリンダの2倍の出力が得られます。
(N)

ロッド径 (mm)	作動 方向	受圧面積 (mm ²)	使用圧力(MPa)					
			0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7
16	OUT	1608	322	483	643	804	965	1126
	IN	1206	241	362	483	603	724	844

質量表

標準ストローク(mm)						アジャスタオプション の増加分	
10,20,30	40,50	75	100	125	150	前進端	後進端
3400	3600	4500	4950	6200	6650	360	250

MXQ32-X2600

可動部質量

標準ストローク (mm)						アジャスタオプションの増加分	
10,20,30	40,50	75	100	125	150	前進端	後進端
1600	1780	2150	2400	2900	3120	140	75

(g)

最大積載荷重

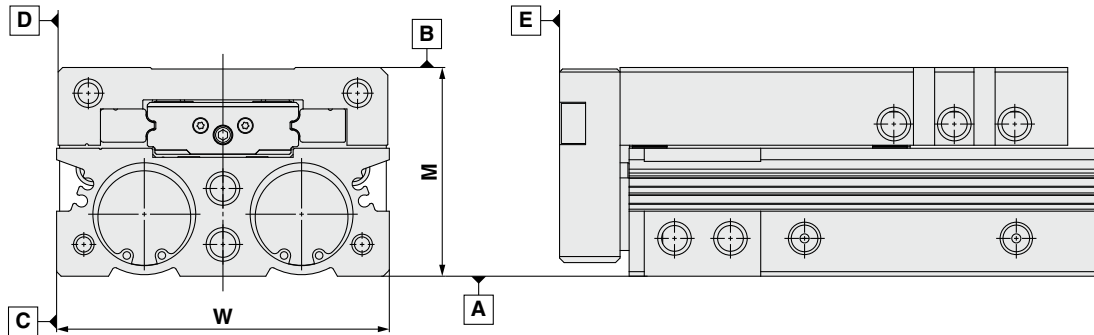
(kg)			
アジャスタなし	アジャスタオプション		
内部ラバークッション	ラバーストッパ	ショックアブソーバ/RJ	
		水平	垂直
16	16	16	16

許容運動エネルギー

(J)			
アジャスタなし	アジャスタオプション		
内部ラバークッション	ラバーストッパ	ショックアブソーバ/RJ	
		水平	垂直
0.78	0.78	1.9	1.9

注) 機種選定にあたっては、P.5の機種選定方法をご参照ください。許容運動エネルギーだけでは機種選定できないのでご注意ください。

テーブルの精度(参考値)



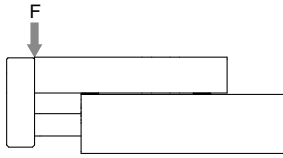
ストローク	10	20	30	40	50	75	100	125	150
A面に対するB面の平行度	0.085		0.095		0.115		0.125		
C面に対するD面の平行度	0.075		0.085		0.105		0.115		
A面に対するB面の走り平行度	0.015	0.025	0.035	0.045	0.055	0.075	0.090	0.110	0.125
C面に対するD面の走り平行度	0.015	0.025	0.035	0.045	0.055	0.075	0.090	0.110	0.125
A面に対するE面の直角度	0.105		0.115		0.125		0.135		
Mの寸法許容差	±0.1					±0.12			
Wの寸法許容差	±0.1								

(mm)

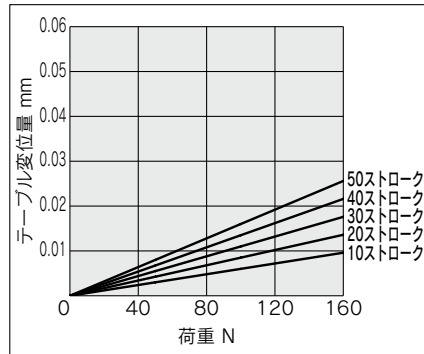
テーブルの変位量(参考値)

ピッチモーメント荷重によるテーブルの変位量

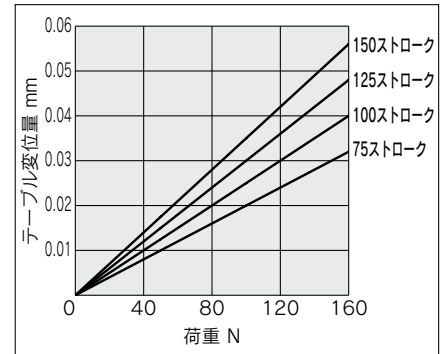
全ストローク時においてF部に荷重を作用させた時のF部の変位量



ピッチモーメント
MXQ32-10,20,30,40,50-X2600

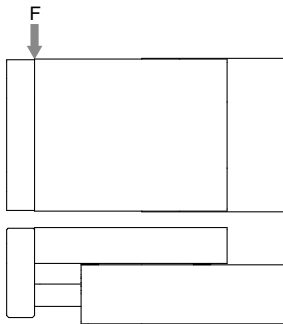


MXQ32-75,100,125,150-X2600

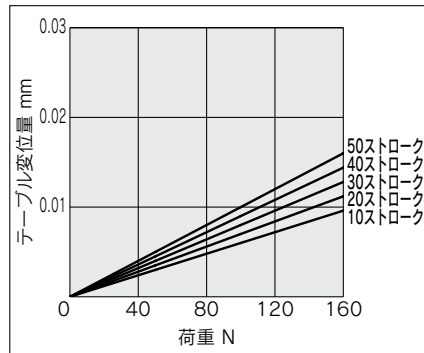


ヨーモーメント荷重によるテーブルの変位量

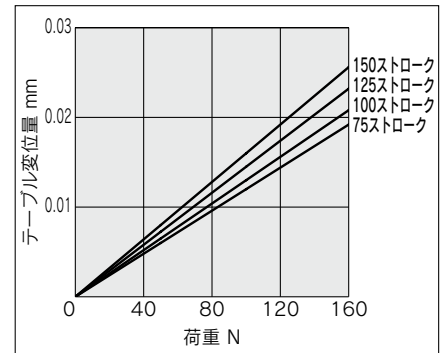
全ストローク時においてF部に荷重を作用させた時のF部の変位量



ヨーモーメント
MXQ32-10,20,30,40,50-X2600

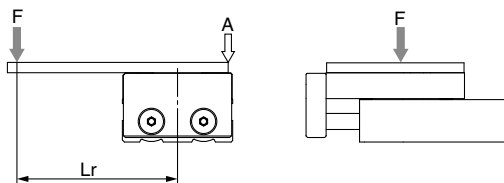


MXQ32-75,100,125,150-X2600

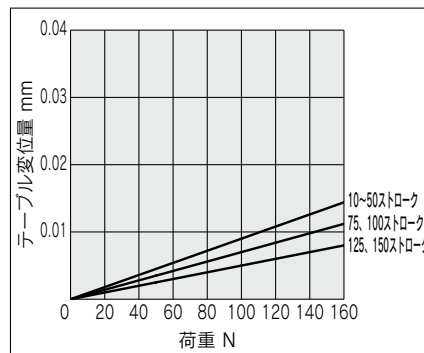


ロールモーメント荷重によるテーブルの変位量

引き込み時においてF部に荷重を作用させた時のA部の変位量



ロールモーメント



MXQ32-X2600 機種選定方法

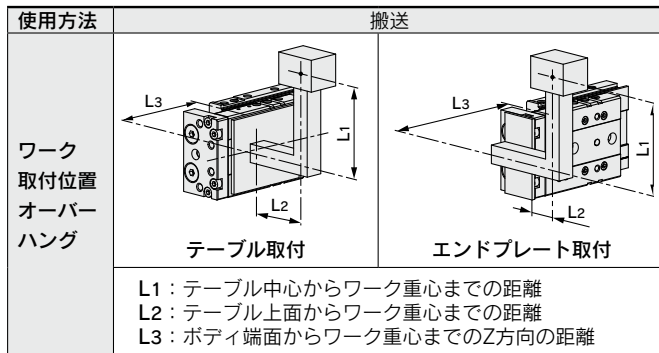
機器選定プログラムをご用意しています。
詳細は当社ホームページ機器選定プログラム
をご参照ください。

選定条件

使用方法によって2通りの選定方法があります。下記にて選定手順をご紹介します。
下記選定手順は、静止している架台にMXQを取付けた場合のグラフによる簡易的な選定手順になります。

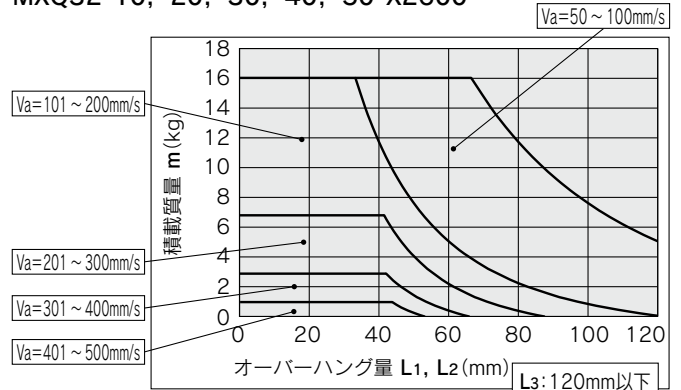
搬送使用時

- ① 積載質量、オーバーハングL1、L2が各平均速度(Va)のグラフの範囲内のこと。
- ② 水平使用の場合、L3のオーバーハングが許容範囲以下のこと。
垂直使用の場合、L3はモーメントに影響しないため考慮は不要です。



※ボディの設置方向に関わらず、L1、L2、L3の位置関係は変わりません。

MXQ32-10, 20, 30, 40, 50-X2600



注) エンドプレート取付の場合、L2はグラフより求めたLの1/2になります。

※積載質量と平均速度から許容オーバーハングを求め、オーバーハングL1、L2が許容値内であることを確認します。

機種選定の手順

1 必要条件

- 使用するストローク
- 積載質量
- オーバーハング量
- 平均速度
- アジャスタの種類

2 グラフの選定

使用するストローク、アジャスタの種類より対象のグラフを選定
前進端と後退端でアジャスタの種類が異なる場合は、各々のアジャスタのグラフで使用可否の確認を行ってください。

3 オーバーハング量の決定

ワーク取付位置オーバーハング量L1、L2、L3の決定
*ボディの設置方向に関わらず、L1、L2、L3の位置関係は変わりません。

4 オーバーハング量の確認

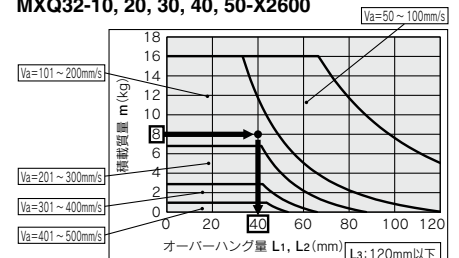
搬送時の許容オーバーハング量L1max、L2max、L3maxの確認

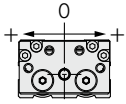
- ① L1max: 積載質量と駆動速度との交点から許容オーバーハング量の確認。
- ② L2max: a: テーブル取付時
積載質量と駆動速度との交点から許容オーバーハング量の確認。
b: エンドプレート取付時
許容オーバーハング量を1/2にした値が許容値になります。
- ③ L3max: 積載質量、駆動速度の許容範囲内であれば選定グラフ内の値まで使用可能です。

5 使用条件のオーバーハング量

使用条件のオーバーハング量(No3のL1、L2、L3)が選定した許容オーバーハング量(No4のL1max、L2max、L3max)以内であれば使用可能です。
*許容オーバーハング量を超えた場合は、オーバーハング量、積載質量、駆動速度等を再検討され再度確認をしてください。

MXQ32-10, 20, 30, 40, 50-X2600



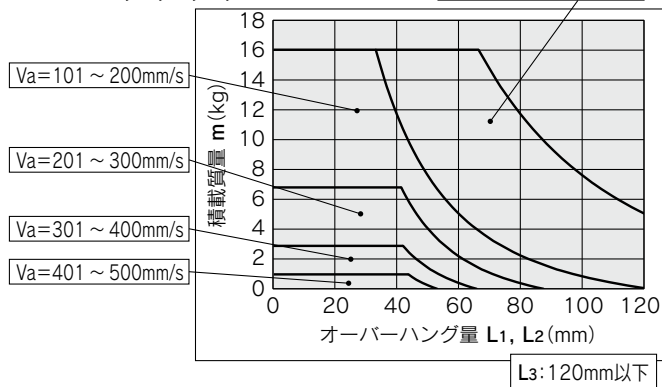


搬送使用時・アジャスタなし

アジャスタなしのオーバーハングL1は、左右対称形なので任意の方向をプラスとしてください。

MXQ32-10,20,30,40,50-X2600

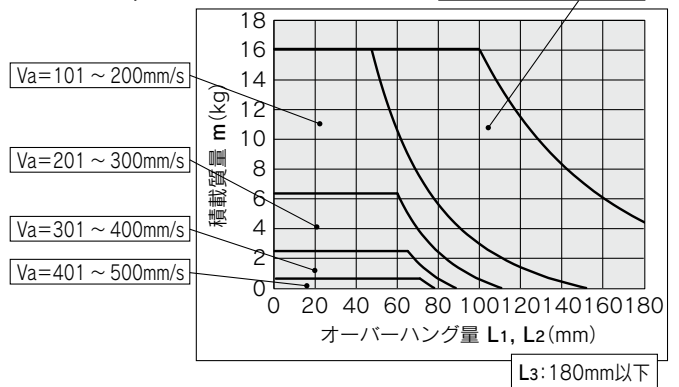
Va=50 ~ 100mm/s



注) エンドプレート取付の場合、L2はグラフより求めたLの1/2になります。

MXQ32-75,100-X2600

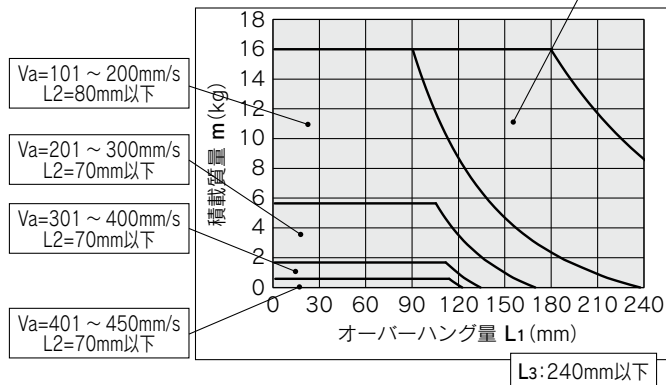
Va=50 ~ 100mm/s



注) エンドプレート取付の場合、L2はグラフより求めたLの1/2になります。

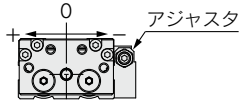
MXQ32-125,150-X2600

Va=50 ~ 100mm/s
L2=140mm以下



注) エンドプレート取付の場合、L2は1/2になります。

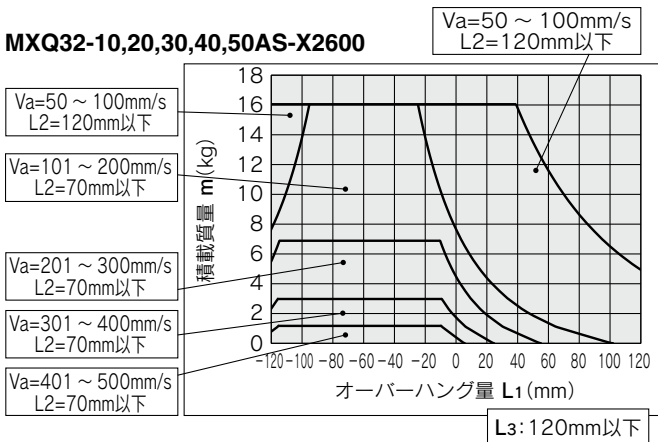
MXQ32-X2600



搬送使用時・ラバーストッパ

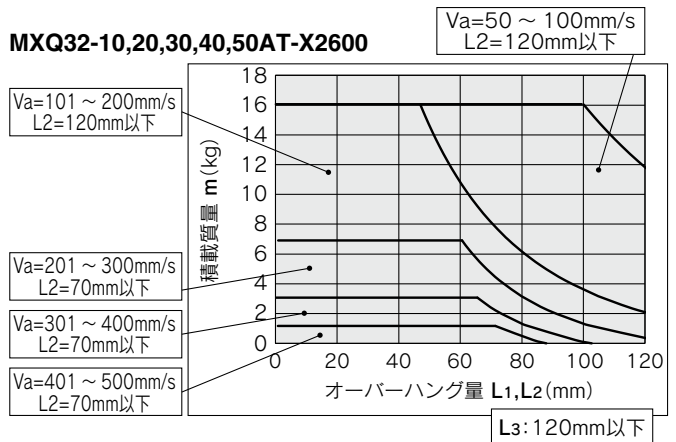
アジャスタ付のオーバーハングL1は、アジャスタ側がマイナスになります。

ラバーストッパ付 AS : 前進端

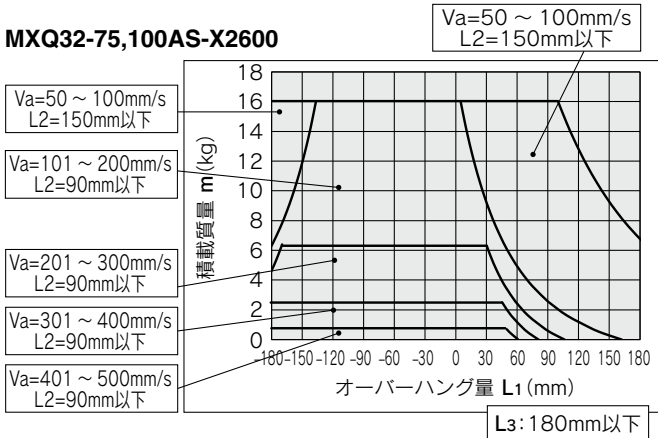


注) エンドプレート取付の場合、L2は1/2になります。

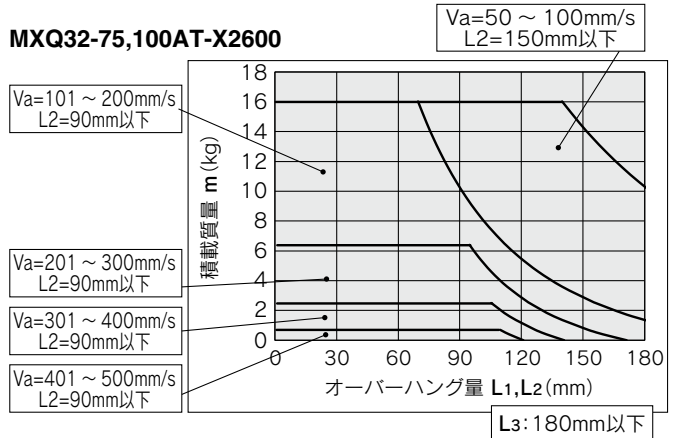
ラバーストッパ付 AT : 後退端



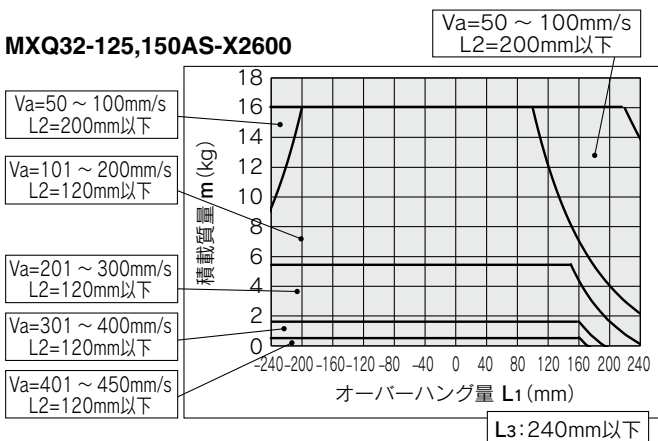
注) エンドプレート取付の場合、L2は1/2になります。



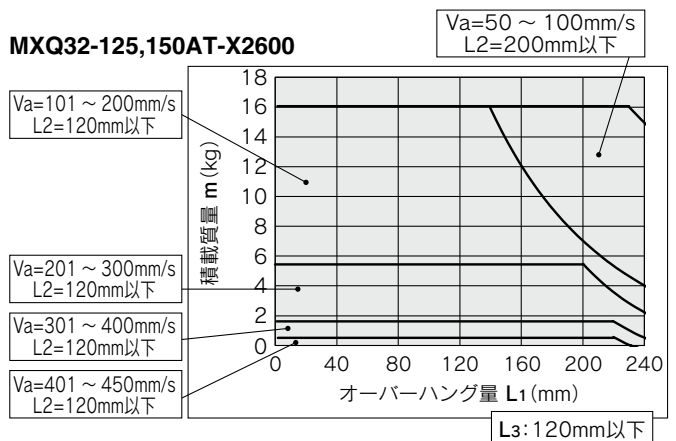
注) エンドプレート取付の場合、L2は1/2になります。



注) エンドプレート取付の場合、L2は1/2になります。



注) エンドプレート取付の場合、L2は1/2になります。



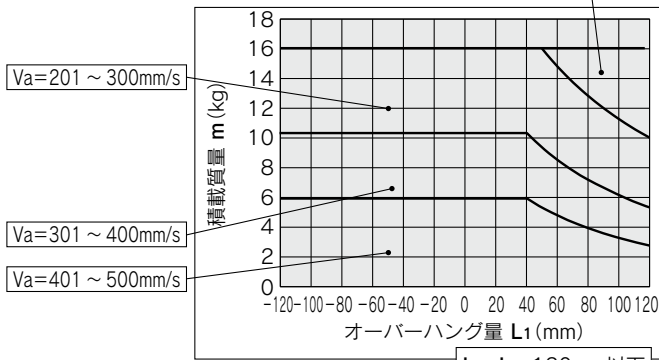
注) エンドプレート取付の場合、L2は1/2になります。

搬送使用時・ショックアブソーバ

ショックアブソーバ **BS** : 前進端

MXQ32-10,20,30,40,50BS-X2600

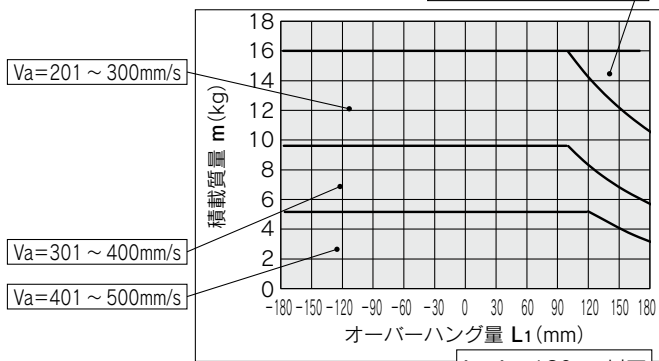
$V_a=50 \sim 200\text{mm/s}$



注) エンドプレート取付の場合、 L_2 は1/2になります。

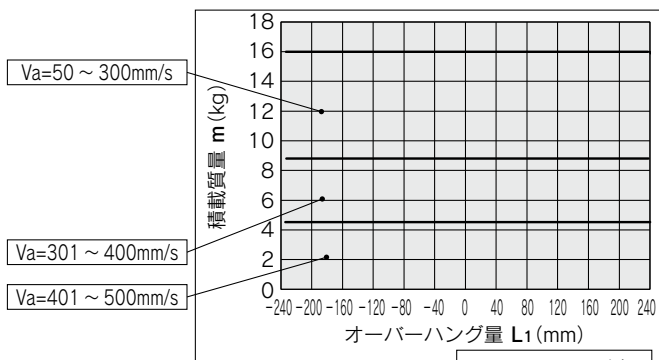
MXQ32-75,100BS-X2600

$V_a=50 \sim 200\text{mm/s}$



注) エンドプレート取付の場合、 L_2 は1/2になります。

MXQ32-125,150BS-X2600

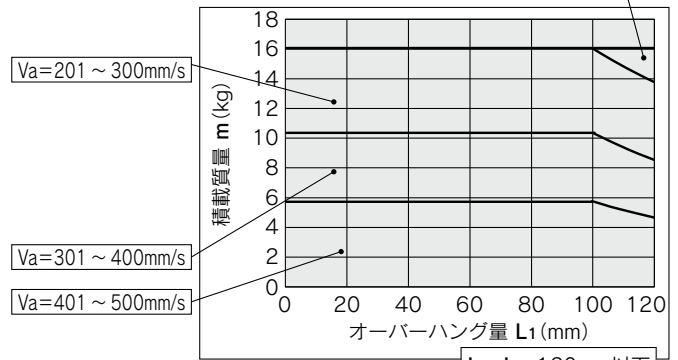


注) エンドプレート取付の場合、 L_2 は1/2になります。

ショックアブソーバ **BT** : 後退端

MXQ32-10,20,30,40,50BT-X2600

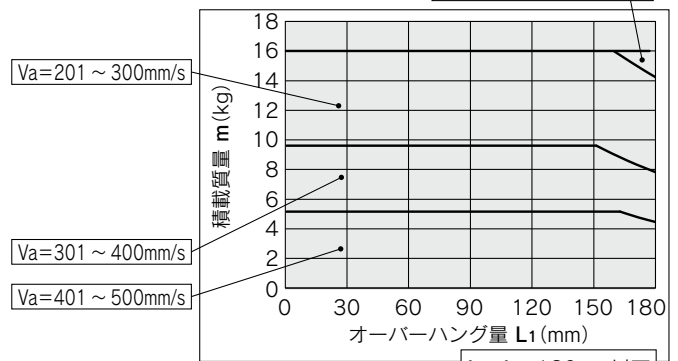
$V_a=50 \sim 200\text{mm/s}$



注) エンドプレート取付の場合、 L_2 は1/2になります。

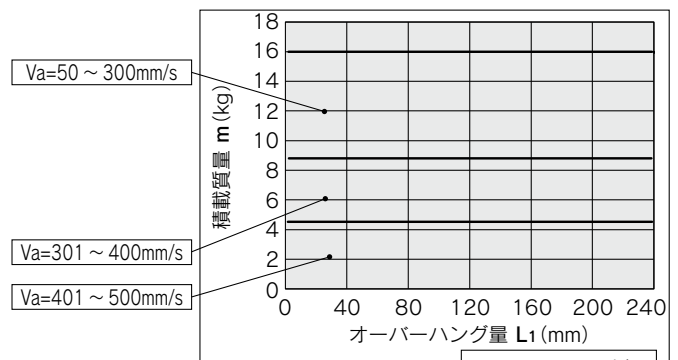
MXQ32-75,100BT-X2600

$V_a=50 \sim 200\text{mm/s}$



注) エンドプレート取付の場合、 L_2 は1/2になります。

MXQ32-125,150BT-X2600



注) エンドプレート取付の場合、 L_2 は1/2になります。

⚠ 注意

- ① 負荷は使用限界を超えない範囲でご使用ください。
機種選定方法に沿ってご選定ください。
使用限界外で使用されますと、ガイド部のガタの発生、精度の悪化など寿命に悪影響を及ぼす原因となります。
- ② 外部ストップによる中間停止を行う場合、再起動時に飛出しを起こさないようにしてください。
飛出しが生じると破損の原因になります。外部ストップで中間停止させ、さらに前進させる場合は一旦、圧力供給してテーブルを一瞬逆に戻した後、中間ストップを引っ込め、その後、逆ポートに圧力供給してテーブルを作動させてください。
- ③ 過大な外力、衝撃力の作用するようなご使用はおやめください。
故障の原因、テーブルの破損となります。
テーブルは十分な強度を確保していますが、万が一破損した場合、手袋等を着用し素手では触らないでください。怪我などの原因となります。

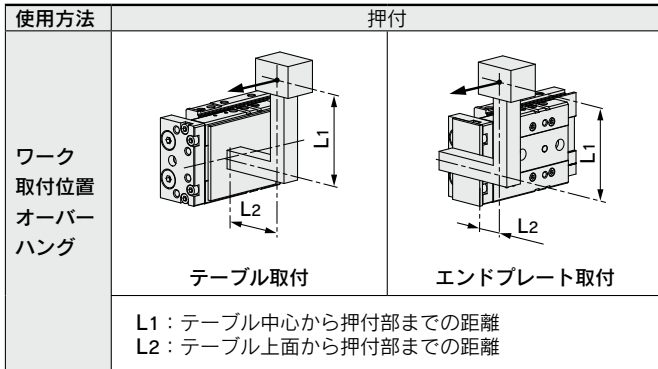
- ④ 使用条件設定後に使用速度を変更した場合は、再度機種選定条件にて使用可能かご確認ください。
オーバーハング、作動速度等の使用条件設定後に作動速度を高速にすると停止時の衝撃力が大きくなり、過大なモーメントが発生し、ガイド部の破損の原因になります。また、スピードコントローラの調整ねじが緩むと作動速度が高速になるので確実に締めてください。



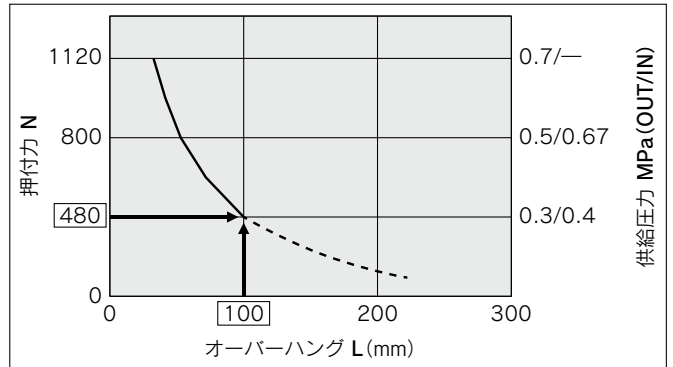
MXQ32-X2600

押付使用時(クランプ)

- ①クランプ用治具の質量、オーバーハングが搬送使用時のグラフの範囲内であることを確認する。
- ②押付力Nと、オーバーハングL1、L2がグラフ範囲内のこと。



※ボディの設置方向に関わらず、L1、L2の位置関係は変わりません。



※許容供給圧力のOUT側、IN側は、押付力が必要な時のシリンダ理論出力です。
 ※押付力と許容オーバーハングL1の交点がグラフ内であることを確認します。

機種選定の手順

1 必要条件

- 使用するストローク
- 必要押付力または使用圧力
- オーバーハング量

2 グラフの選定

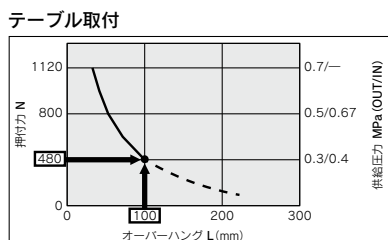
ワーク取付方法によりグラフを選定

3 オーバーハング量の決定

ワーク取付位置オーバーハング量L1、L2の決定
 ※ボディの設置方向に関わらず、L1、L2の位置関係は変わりません。

4 許容押付力の確認

オーバーハング量から許容押付力Nmaxを確認

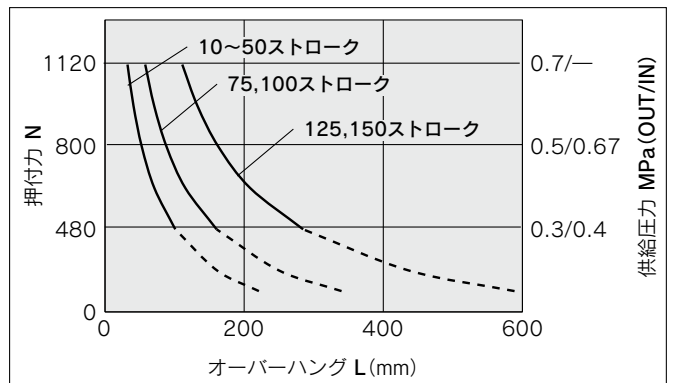


※許容供給圧力のOUT側、IN側値は、押付力が必要な時のシリンダ理論出力です。

5 使用条件の許容押付力

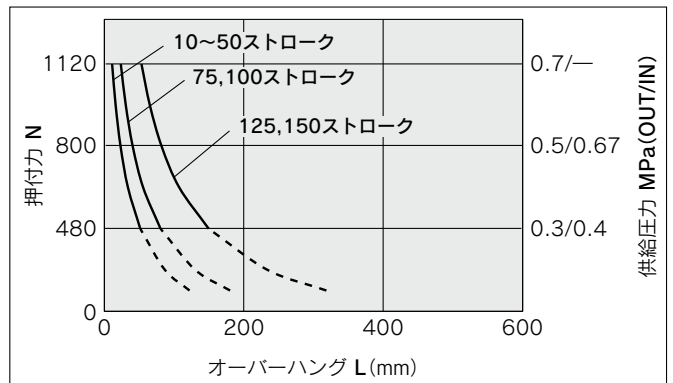
使用条件が選定した許容押付力以内であれば使用可能です。
 ※許容押付力を超えた場合は、使用押付力または使用圧力、オーバーハング量等を再検討され再度確認をしてください。

テーブル取付



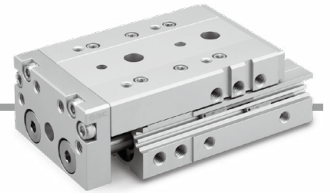
※点線部の範囲においてはバラつきが生じるため参考

エンドプレート取付

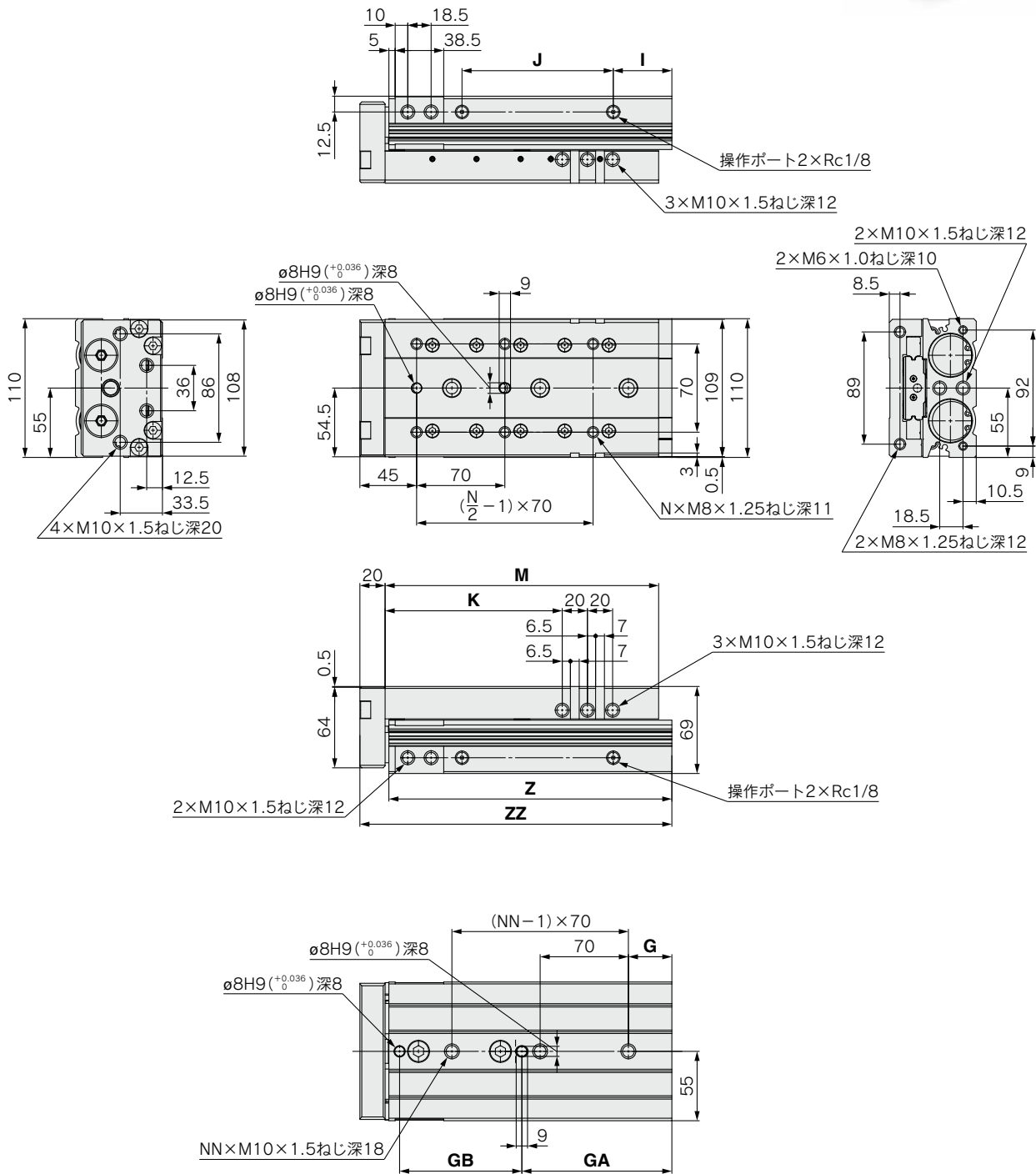


※点線部の範囲においてはバラつきが生じるため参考

外形寸法図:MXQ **32**



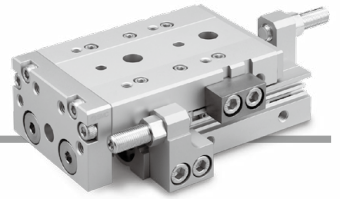
基本形



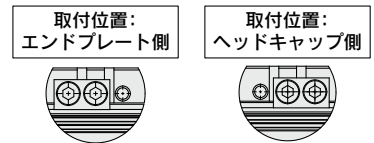
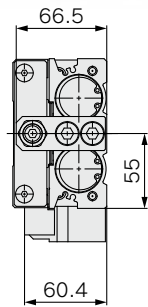
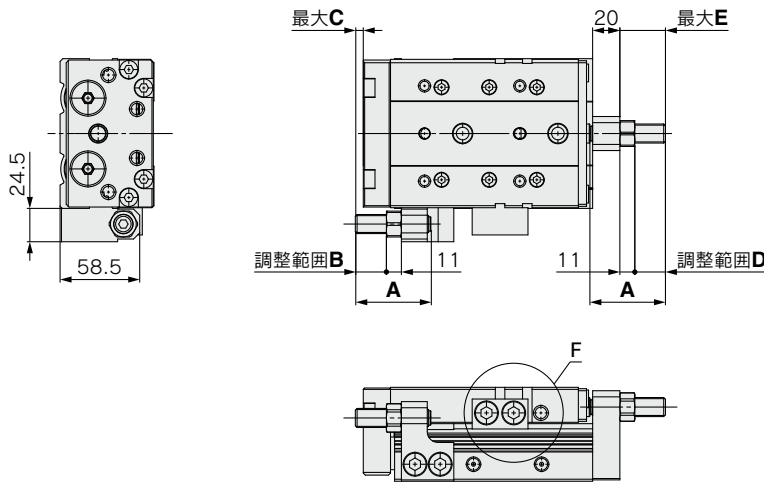
型式	G	N	NN	GA	I	J	K	M	Z	ZZ	GB
MXQ32-10-X2600	25.5	4	2	52	37.5	50	70.5	138	145.5	168.5	85
MXQ32-20-X2600											
MXQ32-30-X2600											
MXQ32-40-X2600	35.5	4	2	62	27.5	70	90.5	148	155.5	178.5	
MXQ32-50-X2600											
MXQ32-75-X2600	79.5	6	2	94	46.5	95	115.5	192	199.5	222.5	
MXQ32-100-X2600	34.5	6	3	119	46.5	120	140.5	217	224.5	247.5	
MXQ32-125-X2600	26.5	8	4	133	83.5	145	165.5	279	286.5	309.5	145
MXQ32-150-X2600	48.5	8	4	155	80.5	170	190.5	301	308.5	331.5	

MXQ32-X2600

外形寸法図: MXQ **32**【アジャスタオプション】



ラバーストッパ付 **A**:両端、**AS**:前進端、**AT**:後退端



詳細図F:前進端アジャスタブロック取付位置

MXQ32-□□A,AS,AT-X2600 (mm)

適用ストローク	A	アジャスタブロック取付位置				D	E
		エンドプレート側		ヘッドキャップ側			
		B	C	B	C		
10	65.5	10	0	—	—	30	44.5
20	55.5	10	0	—	—	20	34.5
30		20	5.5	—	—		
40		10	0	—	—		
50		—	—	—	—		
75		—	—	—	—		
100	20	5.5	—	—			
125							
150							

MXQ32-□□A,AS,AT-X11-X2600 (mm)

適用ストローク	A	アジャスタブロック取付位置				D	E
		エンドプレート側		ヘッドキャップ側			
		B	C	B	C		
10	75.5	20	5.5	—	—	40	54.5
20	65.5	20	5.5	—	—	30	44.5
30		30	15.5	10	0		
40		20	5.5	—	—		
50		—	—	—	—		
75		—	—	—	—		
100	30	15.5	10	0			
125							
150							

MXQ32-□□A,AS,AT-X12-X2600 (mm)

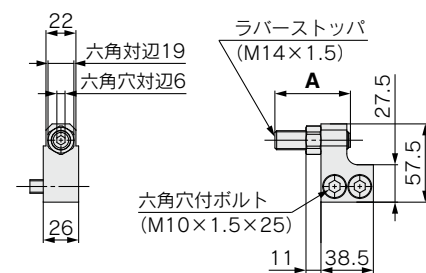
適用ストローク	A	アジャスタブロック取付位置				D	E
		エンドプレート側		ヘッドキャップ側			
		B	C	B	C		
20	75.5	30	15.5	10	0	40	54.5
30		40	25.5	20	5.5		
40		30	15.5	10	0		
50		—	—	—	—		
75		—	—	—	—		
100	40	25.5	20	5.5			
125							
150							

※アジャスタブロックの取付位置により、ストローク調整範囲が変わります。
 ※標準ストローク10mmのアジャスタボルトロング仕様(-X12)の設定はありません。

アジャスタ/ラバーストッパ(外形寸法図)

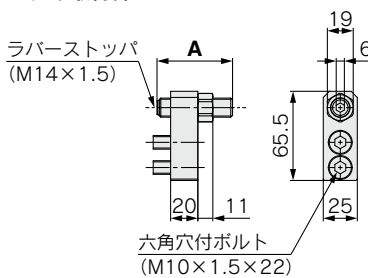
前進端

ボディ取付部

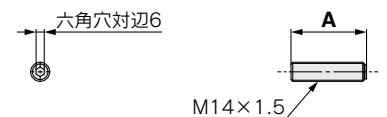


後退端

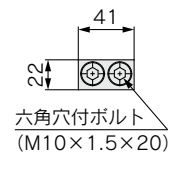
ボディ取付部



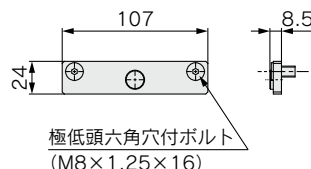
アジャスタボルト/ラバーストッパ単体



テーブル取付部



テーブル取付部

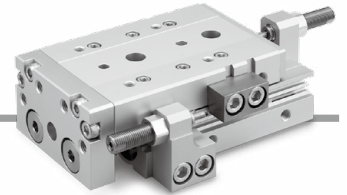


アジャスタ部品品番、寸法表

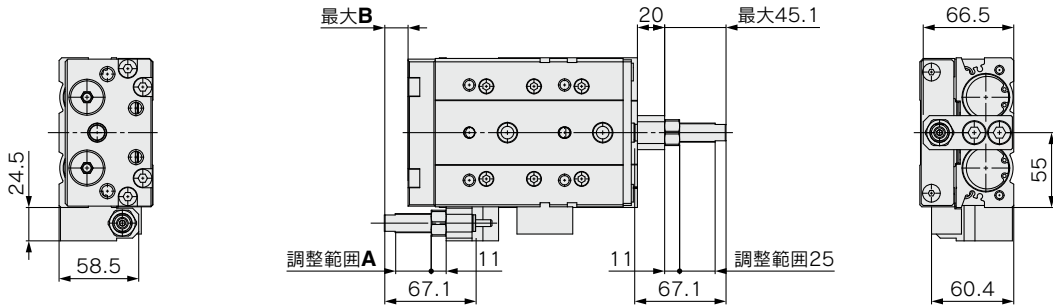
標準ストローク	標準品	型式			A (mm)
		前進端	後退端	ラバーストッパ単体	
10	標準品	MXQ-AS32-X11-X2600	MXQ-AT32-X11-X2600	MXQA-A2527-X11	65.5
	アジャスタボルトロング仕様(-X11)	MXQ-AS32-X12-X2600	MXQ-AT32-X12-X2600	MXQA-A2527-X12	75.5
20, 30, 40, 50, 75, 100, 125, 150	標準品	MXQ-AS32-X2600	MXQ-AT32-X2600	MXQA-A2527	55.5
	アジャスタボルトロング仕様(-X11)	MXQ-AS32-X11-X2600	MXQ-AT32-X11-X2600	MXQA-A2527-X11	65.5
	アジャスタボルトロング仕様(-X12)	MXQ-AS32-X12-X2600	MXQ-AT32-X12-X2600	MXQA-A2527-X12	75.5

※標準ストローク10mmのアジャスタは、標準でアジャスタボルトロング仕様(-X11)を使用、アジャスタボルトロング仕様(-X11)はアジャスタボルトロング仕様(-X12)を使用します。

外形寸法図:MXQ **32**【アジャスタオプション】



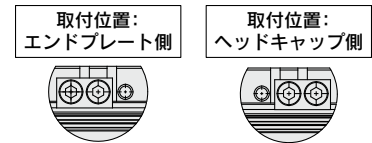
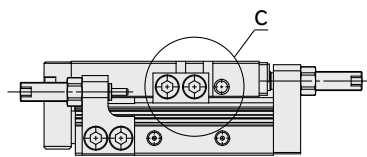
ショックアブソーバ付 **B**:両端、**BS**:前進端、**BT**:後退端



MXQ32-□□**B,BS,BT**-X2600 (mm)

適用ストローク	アジャストブロック取付位置			
	エンドプレート側		ヘッドキャップ側	
	A	B	A	B
10	5	0	—	—
20	15	7.1	—	—
30	25	17.1	5	0
40	15	7.1	—	—
50				
75				
100	25	17.1	5	0
125				
150				

※アジャストブロックの取付位置により、ストローク調整範囲が変わります。

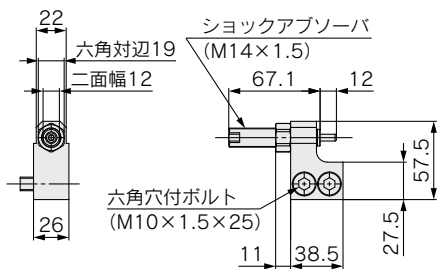


詳細図C:前進端アジャストブロック取付位置

ショックアブソーバ(外形寸法図)

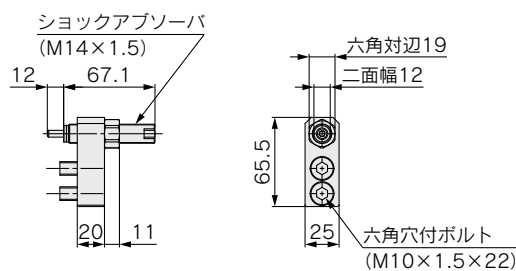
前進端

ボディ取付部

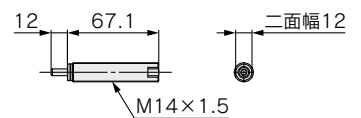


後退端

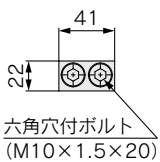
ボディ取付部



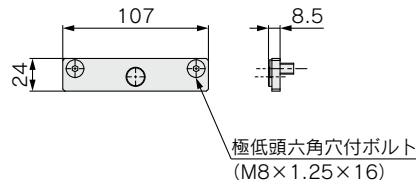
ショックアブソーバ単体



テーブル取付部



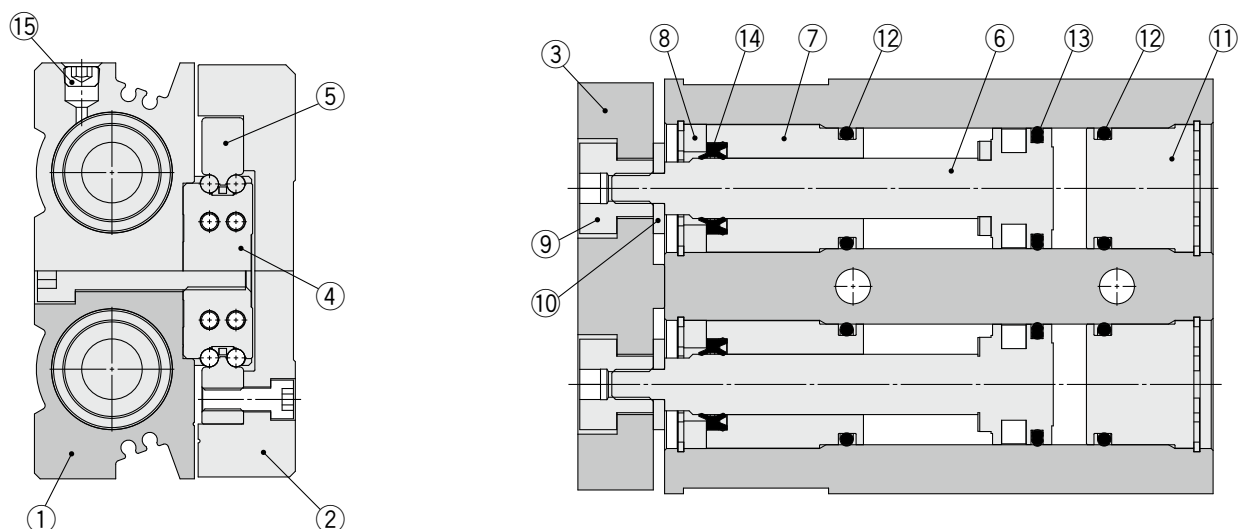
テーブル取付部



型式		
前進端	後退端	ショックアブソーバ単体
MXQ-BS32-X2600	MXQ-BT32-X2600	RJ1412LN

MXQ32-X2600

交換部品



構成部品

番号	部品名
1	ボディ
2	テーブル
3	エンドプレート
4	ガイドブロック
5	ガイドレール
6	ピストンロッドAss'y
7	ロッドカバー
8	パッキンサポート
9	フローティングブッシュA
10	フローティングブッシュB
11	ヘッドキャップ
12	Oリング
13	ピストンパッキン
14	ロッドパッキン
15	六角穴付テーパプラグ

交換部品

部品名	手配番号	内容
パッキンセット	MXQ32-PS	上記番号の12,13,14のセット
プラグセット	MXQ-PLG	上記番号の15

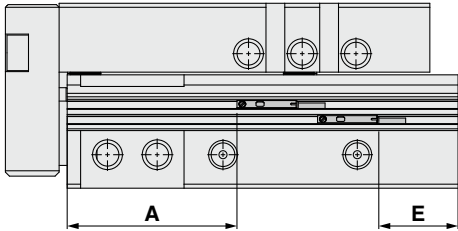
グリースパック品番

塗布箇所	グリースパック品番
ガイド部	GR-S-010(10g入り)
	GR-S-020(20g入り)
シリンダ部	GR-L-005(5g入り)
	GR-L-010(10g入り)

MXQ32-X2600 オートスイッチ取付

オートスイッチ／適正取付位置(ストロークエンド検出時)

注) 実際の設定においては、オートスイッチの作動状態をご確認のうえ、調整願います。



オートスイッチ型式	Aストローク									Eストローク								
	10	20	30	40	50	75	100	125	150	10	20	30	40	50	75	100	125	150
D-M9□/M9□W	76.5	66.5	56.5	66.5	56.5	56.5	56.5	56.5	56.5	36.2	36.2	36.2	26.2	26.2	45.2	45.2	82.2	79.2
D-M9□V/M9□WV	76.5	66.5	56.5	66.5	56.5	56.5	56.5	56.5	56.5	39.2	39.2	39.2	29.2	29.2	48.2	48.2	85.2	82.2
D-M9□A	76.5	66.5	56.5	66.5	56.5	56.5	56.5	56.5	56.5	35	35	35	25	25	44	44	81	78
D-M9□AV	76.5	66.5	56.5	66.5	56.5	56.5	56.5	56.5	56.5	37	37	37	27	27	46	46	83	80
D-A9□/A9□V	72.5	62.5	52.5	62.5	52.5	52.5	52.5	52.5	52.5	41 (38.5)	41 (38.5)	41 (38.5)	31 (28.5)	31 (28.5)	50 (47.5)	50 (47.5)	87 (84.5)	84 (84.5)

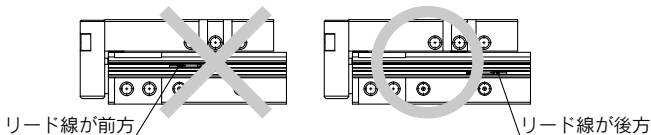
※ () 内寸法はD-A90, A93を示す

オートスイッチ取付方法

⚠ 注意

■オートスイッチ取付方向

下図のようにリード線が前方になる取付けでは、オートスイッチが誤作動する場合があります。リード線が後方になる取付けでご使用ください。



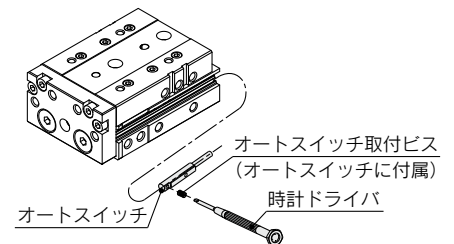
■オートスイッチ取付工具

オートスイッチ取付ビス(オートスイッチに付属)を締付ける際には握り径5~6mm程度の時計ドライバをご使用ください。

■締付トルクについて

オートスイッチ取付ビスの締付トルク (N・m)

オートスイッチ型式	締付トルク
D-M9□(V)	0.05~0.15
D-M9□W(V)	
D-M9□A(V)	0.05~0.10
D-A9□(V)	0.10~0.20



動作範囲

オートスイッチ型式	動作範囲 (mm)
D-M9□(V)	5
D-M9□W(V)	
D-M9□A(V)	
D-A9□/A9□V	9.5

※ 応差を含めた目安であり、保証するものではありません。(ばらつき±30%程度)周囲の環境により大きく変化する場合があります。

⚠ 注意

標準形と対称形を並べる場合には3mm以上の間隔を取ってください。間隔が少ないとオートスイッチ誤作動の原因となります。



型式表示方法に記載の適用オートスイッチ以外にも下記オートスイッチの取付けが可能です。

※ ノーマルクローズ (NC=b接点) 無接点オートスイッチ (D-F9G, F9H型) および無接点オートスイッチ D-F8型もありますので、詳細はホームページWEBカタログをご参照ください。

MXQ32-X2600 オーダーメイド仕様

詳しい寸法・仕様および納期につきましては、当社にご確認ください。



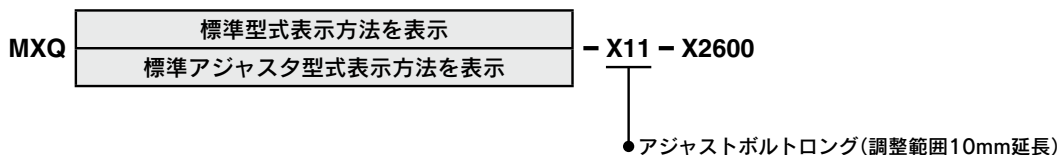
表示記号

1 アジャストボルトロング仕様(調整範囲10mm延長)

-X11

ラバーストップパ: アジャストボルトを長くしてストローク調整範囲を標準品より10mm長くしました。

注1) ラバーストップパの調整範囲、寸法は外形寸法図を参照してください。



注2) ショックアップソーバに-X11はありません。

注3) ラバーストップパご使用时-X11は、前進端、後退端の両方に適用されます。

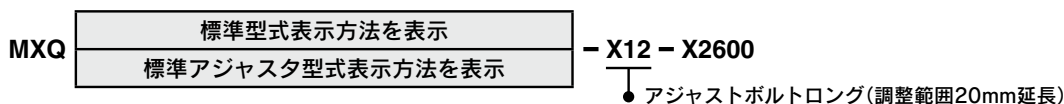
表示記号

2 アジャストボルトロング仕様(調整範囲20mm延長)

-X12

ラバーストップパ: アジャストボルトを長くしてストローク調整範囲を標準品より20mm長くしました。

注1) ラバーストップパの調整範囲、寸法は外形寸法図を参照してください。



注2) ショックアップソーバに-X12はありません。

注3) ラバーストップパご使用时-X12は、前進端、後退端の両方に適用されます。

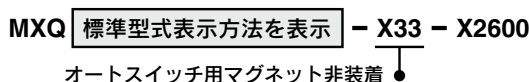
注4) 標準ストローク10mmのラバーストップパ(-X12)の設定はありません。

表示記号

3 オートスイッチ用マグネット非装着仕様

-X33

オートスイッチ用マグネットを装着していない製品。
磁力が問題になる場合等に対応。



仕様

シリンダ内径(mm)	32
オートスイッチ	取付不可

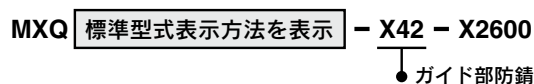
※1 上記以外の仕様および外形寸法は標準形と同一です。

表示記号

4 ガイド部防錆仕様

-X42

ガイドレール、ガイドブロックに防錆処理を施してあります。



仕様

シリンダ内径(mm)	32
表面処理	特殊防錆処理※2

※1 上記以外の仕様および外形寸法は標準形と同一です。

※2 特殊防錆処理により、ガイドレール、ガイドブロックが黒色になります。

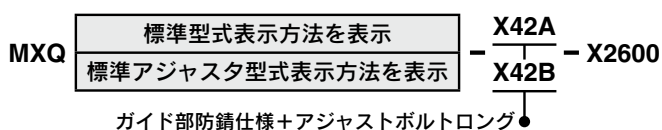
表示記号

5 ガイド部防錆仕様+アジャストボルトロング仕様

-X42A,-X42B

ガイドレール、ガイドブロックに防錆処理を施してあります。

ラバーストップパ: アジャストボルトを長くして、ストローク調整範囲を標準品より長くしました。



仕様

表示記号	-X42A	-X42B
シリンダ内径(mm)	32	
表面処理	特殊防錆処理※2	
アジャストボルトロング(調整範囲)	10mm延長	20mm延長

注1) ラバーストップパの調整範囲、寸法は外形寸法図を参照してください。

注2) ショックアップソーバに-X42A,-X42Bはありません。

注3) ラバーストップパご使用时-X42A,-X42Bは、前進端、後退端の両方に適用されます。

注4) 標準ストローク10mmのラバーストップパ(-X42B)の設定はありません。

※1 上記以外の仕様および外形寸法は標準形と同一です。

※2 特殊防錆処理により、ガイドレール、ガイドブロックが黒色になります。



MXQ32-X2600 / 製品個別注意事項

ご使用前に必ずお読みください。安全上のご注意ならびにアクチュエータ／共通注意事項、オートスイッチ／共通注意事項につきましては当社ホームページの「SMC製品取扱い注意事項」および「取扱説明書」をご確認ください。 <https://www.smcworld.com>

取付

⚠ 注意

- ① テーブルの位置決め穴およびボディの底面の位置決め穴は同一センターではありません。同一製品のメンテナンス等による取外し後の再取付時にご使用ください。
- ② アジャスタ付きの場合、シリンダ推力によりモーメントが発生し、停止時にテーブル先端が変位します。変位量は供給圧力、取付け姿勢、機種により異なります。

使用環境

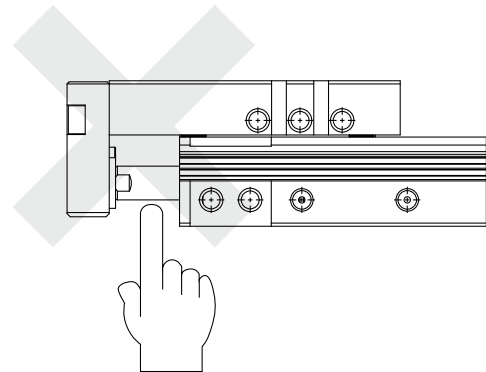
⚠ 注意

- ① ガイドレールにはマルテンサイト系ステンレス、ガイドブロックには高炭素クロム鋼（高炭素クロム軸受鋼）を使用しておりますがオーステナイト系ステンレスと比較すると耐食性は劣るのでご注意ください。特に結露で水滴が付く環境では錆が発生する場合があります。
- ② リニアガイド部の耐食性にはご注意ください。
特に結露等で水滴が付着するような環境では錆が発生する場合があります。

その他

⚠ 警告

- ① テーブルとブラケットの間に手や指を入れないでください。
引き込み時にテーブルとブラケットの間に手や指を挟む可能性がありますので、絶対に手や指を入れないでください。
手や指を挟まれた場合、人体に障害を与える恐れがあります。



- ② 本製品のシリンダ部に使用しているグリースが手に付着した状態でタバコ等を吸いますと、有害なガスを発生し人体に損害を与えてしまうおそれがありますのでご注意ください。

⚠ 注意

- ① 分解および改造を行わないでください。
- ② 定速性について
本製品仕様欄表記の使用ピストン速度は、平均速度を示すもので負荷抵抗の変化や圧力変動などの使用環境条件により、ストローク途中での微小な速度変化が生じる場合があります。

△ 安全に関するご注意 ご使用の際は「SMC製品取扱い注意事項」(M-03-3)および「取扱説明書」をご確認のうえ、正しくお使いください。

SMC株式会社 <https://www.smcworld.com>

本社 / 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 15F
東京営業所TEL.050-3538-6371 名古屋営業所TEL.050-3538-6453 大阪営業所TEL.050-3538-6520

お客様相談窓口 **フリーダイヤル ☎ 0120-837-838**
受付時間 / 9:00~12:00 13:00~17:00 月~金曜日(祝日、会社休日を除く)

代理店